

秘密結社

TCVV 白書 第 13 号 通巻 16 号 2011 年 8 月 13 日発行 (不定期発行) ISSN 2185-9043

声優はVisualに出るな！会議

TCVV

<http://www.tevv.org/>

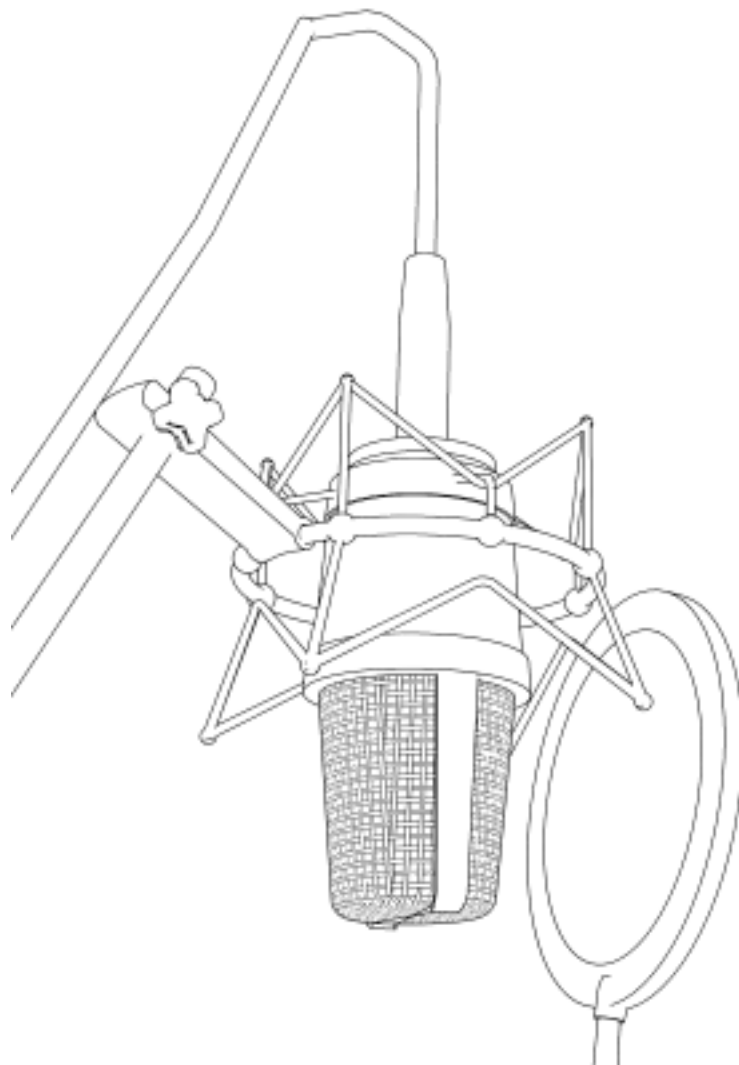
TCVV白書

特別記事 :: ISSN 取得顛末記

リニューアル :: TCVV 短期アニメ観測調査

13

The TCVV Whitepaper 2011 NO. 13



声優は Visual に出るな！宣言 Ver1.11

声優は Visual に出るな会議 決議第 00000 号

声優は映画俳優・舞台俳優に比べ声だけで勝負をするという過酷な生業である。映画・舞台俳優は身振り手振りが付加されるので視覚に訴えることが効く。が、声優はそうは行かない。だからこそ高度な演技力が必要とされるのではないだろうか。現在、第四次声優ブームと言われているそうだが、何か違和感を感じずにはいられない。最近の「声優」と呼ばれる人々は Visual、その他のメディアに頼りすぎ・出過ぎではないだろうか？

今やマーケティングでメディアを十分に活用すれば、そこら辺のお姉ちゃんですら CD をあっという間に売ってしまう。この状況を「沈黙のミリオンセラー」¹とは良く言ったものである。「声優」自体が今やメディア戦略によって商品になってしまったと思う。この戦略は聴衆を気がつかない間に購買者に変えてしまう巧みなシステムだと考える。しかし、このシステムは本来の価値。つまり「声のプロフェッショナル」としての声優を正当に評価していないものであると言える。

舞台俳優の中には決して Visual に耐えられる人ばかりではない。が、そのような人が舞台に立てるのは、人を引き付ける演技力を持っているためであると考え。一方、声優の質は低下している。これは最近のアニメーションは高度な演技力を必要としないものが多くなっているからといえよう。そうなれば声優の質が低下するのは至極当然のことである。²従って、高度な演技を必要とする作品では声優の能力の限界が露呈してしまう。例えば、劇場版新世紀エヴァンゲリオンの最後の最後はアスカのほんの一言で終わる。³しかし、この台詞は始めに用意してあったものとは違うものであったようだ。本来は「あんたばか？」であったようだった。が、声優の力量不足のため、結局「気持ち悪い。」へと変更を余儀なくされた。完全に声優が役に負けてしまっていたのである。結果、作品は中途半端に仕上がってしまい損害を被ったのは我々聴衆者である。

声優が新境地を求めるのもいい。しかし、声優も役者であるのだからまず足場を固めてから進出するのが筋と考える。我々は、健全な日本アニメ・マンガの質を守るため、ここに「声優は Visual に出るな！」を宣言する。

¹ 誰もが知っている訳でもないのに 100 万枚以上売ったレコード・CD のこと。一昔前は 100 万枚といったら大部分の人がその曲を知っていた。

² 劇場版 Evangelion のパンフレット（春、夏ともに）にて清川元夢氏はプロ意識なき声優への批判とも解釈できる発言をしている。これは非常に勇気ある発言と言える。（普通はこういう事は映画のパンフでは言わないであろう。）

³ 実は Evangelion はヲタク（庵野氏）によるヲタク批判であったことはあまり報じられていない。ヲタクの皆様はそのメッセージを受け取れなかったとのこと。（レイとシンジが列車に乗っていて会話をするあのシーンが批判部分とされている）

目次

| | |
|------------------------------------|-----------|
| 巻頭言 | 4 |
| 1 第14回 TCVV 短期アニメ観測調査 | 5 |
| 1.1 TCVV 短観概要 | 5 |
| 1.2 調査期間 | 5 |
| 1.3 集計 | 5 |
| 1.4 傾向分析 | 7 |
| 1.5 際立つ状況 | 7 |
| 1.6 気になる動き | 8 |
| 1.7 定点観測 | 8 |
| 2 専門雑誌における掲載率 Vol.9 | 9 |
| 2.1 目的 | 9 |
| 2.2 解析方法 | 9 |
| 2.3 結果 | 9 |
| 2.4 データ考察 | 10 |
| 3 ISSN 取得顛末記～そんなコピー本で大丈夫か？～ | 11 |
| 3.1 はじめに | 11 |
| 3.2 いざ取得へ | 11 |
| 3.3 申請するでゲソ | 11 |
| 3.4 ISSN 発行後 | 12 |
| 3.5 おわりに | 12 |
| 4 『声優アワード』 Watch Vol.4 | 13 |
| 5 声優システム論 (8) | 16 |
| 6 TCVV フォーラム | 20 |
| 6.1 Chairman's free talk-議長放談- | 20 |
| 6.2 From member's voice | 21 |
| 6.3 From reader's voice-読者の声- | 22 |
| 編集後記 | 23 |

我々は声ヲタではあるが声優ファンに非ず

本誌が創刊されたのが2001年12月。声優ブームの中、『声優は Visual に出るな!』という看板を前面に出して時代に真っ向から対立する異色のサークルとしてコミケットに参加しました。この10年間の啓蒙活動により当サークルは色々な意味で声優島ではそこそこ有名な存在となりました。これから出て来る若い声優に何らかの影響を与えていてもおかしくありません。バタフライ効果を期待しています。(お

でもまさか、10年も参加しつづけるとは思いませんでした。その間にはサークル抽選に落ちまくった年があったり、声優島の1-Aという好位置になったりと紆余曲折もありました。その後、声優島から追放され『その他のアニメ島』にと現在までに至ります。

TCVVは特定の声優ファンの方には『ことごとく嫌われるサークル』です。まぢで相当に嫌われています。個人攻撃をしている積もりは毛頭無いのですが、目立つ人に関するコメントや記事はファンの方々にとって攻撃されたと思われるようです。これは舌足らずな物言いもあるので誤解も多少はあるかと思えます。何にせよファンサークルと違い、書きにくいことをバンバンと書くし言う。声優島はTCVVにしたら『向うところ敵だらけ』のALLアウェイです。

それでも参加し続けるのは我々には設立以来の揺るぎない信念があるからです。全ては本誌冒頭のTCVV宣言に集約されます。声優は『まずは足元を固めて下さい。芸を広げるのはそれからだ』。TCVVは一貫してこれを主張して来ました。我々は芸を広げる事自体について設立当初から全く否定していません。ただ、手順と順序があるのでないのかと問い質して来ました。

TCVVは今から13年前、当時の声優とアニメの現状を憂いて設立されました。『TCVVは声ヲタではあるが声優ファンではなく寧ろアニメファン』です。

理解しづらい概念かと思いますが作品(キャラ)が主で役者が従という基本の考え方から声優を研究しているうちにメンバーがいつの間にか声ヲタになってしまいました。

さらに言えば作品を壊すものはシナリオ、作画を含めて全てが悪であるというのが根底の考え方です。あくまでも作品重視のスタンスで考えているので、作品を壊すもの、またその元凶となるヘンテコな売られ方をする声優は容赦なく叩きます。

そういう意味では声優島にいるより現在の『その他アニメ』島にいる方が確かに適正な配置だと言えます。スタッフの適切な配置に感謝します。

10年間、本誌をお買い求め頂く方々を見て来ましたが我々の考えに賛同する方、声優ファンがネタで購入してゆくケースなど様々です。いずれにせよ、我々はそう言う方々に10年間も支えられて来たのだと改めて思います。

そして10周年を期に装丁を刷新しました。

表紙の上を右上を御覧になって気付かれた方もいるかと思えますがISSN(国際標準逐次刊行物番号)も取得しました。創刊から同一誌名で継続して出版してこそです。

TCVVは『声優島の過激派』と自称していました。大声優翼賛界と化した声優界に健全な野党が必要との思いは変わっていません。この先も一石を投げ続けるサークルでありたいと考えています。

それではTCVV白書 Vol.13. はじまります。

1 第14回 TCVV 短期アニメレ観測調査

TCVV 情報管理部 調査課 短観担当

1.1 TCVV 短観概要

経済指標を示す「日銀短観（日本銀行短期経済観測調査）」のようにある期間に区切りアニメタレントの出演数を調査することにより今後の動向を予測する。

なお、データは「しょぼいカレンダー⁴」から TCVV の算出基準⁵により機械的に抽出したものである。

集計方法は新規出演数を 1Q 毎に集計し合算した後、4 で除することで 1Q 当たりの新規出演数の平均値を算出する。この値を「短期的な活性度（単純活性度）」と定義する。

ただし、人間は忘却をする性質があるので『単純活性度』だけでは感覚に合致しないと考える。最近の出演した方がより印象が深い。そこで人間の感覚を取り入れるため過去を割り引いて考えた『感覚活性度』も同時に算出する。

具体的な算出方法は 4Q 前は出演数に 0.25 を、同様に 3Q 前は 0.5、2Q 前は 0.75 を乗ずることで重み付けし人間の感覚により近い活性度を算出する。

活性度が 1.00 以上ということはクォータ毎に平均して新規 1 本出ていることになり、コンスタンスに新規に出ていると言える。言い換えれば『常に新しい状態』である。

TCVV 短観は独自集計であるため、一般的な『のべ出演数』から集計したものとは結果が大きく異なる。しかし、そのため別の視点から状況を分析すること出来ると考える。

なお今回から男性声優も実験的に集計した。また調査結果については誌面を圧迫するため男女とも上位 20 名までの掲載とした。（標本数 男性 52 名、女性 100 名）

1.2 調査期間

西暦 2011 年 1 月～2011 年 7 月

本調査は十分な調査をしていますが予測であり内容を保証するものではありません。

1.3 集計

1.3.1 女性編

| 順位 | 氏名 | 2010/4Q | 2011/1Q | 2011/2Q | 2011/4Q | 単純活性度 | 感覚活性度 |
|----|-------|---------|---------|---------|---------|-------|-------|
| 1 | 花澤香奈 | 5 | 3 | 7 | 4 | 4.75 | 3.00 |
| 2 | 能登麻美子 | 3 | 2 | 3 | 8 | 4.25 | 3.00 |
| 3 | 沢城みゆき | 3 | 4 | 4 | 5 | 3.50 | 2.69 |
| 4 | 豊崎愛生 | 3 | 3 | 6 | 3 | 4.00 | 2.44 |

⁴<http://cal.syoboi.jp/>

⁵TVA レギュラ出演のみで単発出演は除く

| 順位 | 氏名 | 2010/4Q | 2011/1Q | 2011/2Q | 2011/4Q | 単純活性度 | 感覚活性度 |
|----|-------|---------|---------|---------|---------|-------|-------|
| 5 | 小林ゆう | 3 | 1 | 8 | 1 | 3.75 | 2.06 |
| 6 | 喜多村英里 | 1 | 4 | 4 | 2 | 2.00 | 1.81 |
| 7 | 戸松遥 | 3 | 1 | 5 | 2 | 3.50 | 1.75 |
| 8 | 伊藤かな恵 | 4 | 0 | 4 | 3 | 3.00 | 1.75 |
| 9 | 寿美奈子 | 2 | 0 | 2 | 4 | 2.00 | 1.50 |
| 9 | 佐藤利奈 | 2 | 1 | 4 | 2 | 2.00 | 1.50 |
| 9 | 堀江由衣 | 2 | 2 | 2 | 3 | 2.00 | 1.50 |
| 12 | 阿澄佳奈 | 3 | 0 | 4 | 2 | 2.75 | 1.44 |
| 13 | 高垣彩陽 | 3 | 1 | 2 | 3 | 2.00 | 1.44 |
| 13 | 釘宮理恵 | 2 | 2 | 3 | 2 | 2.00 | 1.44 |
| 15 | 日笠陽子 | 0 | 3 | 3 | 2 | 2.25 | 1.44 |
| 16 | 井上麻里奈 | 0 | 4 | 5 | 0 | 1.75 | 1.44 |
| 17 | 竹達彩奈 | 5 | 1 | 1 | 3 | 2.50 | 1.38 |
| 18 | 小清水亜美 | 4 | 3 | 2 | 1 | 2.00 | 1.25 |
| 19 | 加藤英美里 | 1 | 2 | 1 | 3 | 2.00 | 1.25 |
| 20 | 茅野愛衣 | 0 | 1 | 2 | 3 | 1.75 | 1.25 |

1.3.2 男性編

| 順位 | 氏名 | 2010/4Q | 2011/1Q | 2011/2Q | 2011/4Q | 単純活性度 | 感覚活性度 |
|----|-------|---------|---------|---------|---------|-------|-------|
| 1 | 岡本信彦 | 4 | 2 | 4 | 3 | 3.25 | 2.00 |
| 2 | 下野紘 | 3 | 2 | 4 | 3 | 3.00 | 1.94 |
| 3 | 藤原啓二 | 2 | 2 | 4 | 3 | 2.75 | 1.88 |
| 4 | 杉田智和 | 5 | 2 | 5 | 1 | 3.25 | 1.75 |
| 5 | 諏訪部順一 | 5 | 1 | 3 | 3 | 3.00 | 1.75 |
| 6 | 小野大輔 | 2 | 1 | 5 | 2 | 2.50 | 1.69 |
| 7 | 福山潤 | 4 | 1 | 2 | 3 | 2.50 | 1.50 |
| 8 | 櫻井孝宏 | 3 | 0 | 4 | 2 | 2.25 | 1.44 |
| 9 | 中村悠一 | 3 | 2 | 2 | 2 | 2.25 | 1.31 |
| 10 | 鈴村健一 | 2 | 2 | 1 | 3 | 2.00 | 1.31 |
| 11 | 梶裕貴 | 1 | 1 | 3 | 2 | 1.75 | 1.25 |
| 12 | 柿原徹也 | 1 | 1 | 4 | 1 | 1.75 | 1.19 |
| 13 | 鳥海浩輔 | 3 | 0 | 1 | 3 | 1.75 | 1.13 |
| 13 | 神谷浩史 | 1 | 2 | 3 | 1 | 1.75 | 1.13 |
| 13 | 石田彰 | 2 | 1 | 2 | 2 | 1.75 | 1.13 |
| 16 | 宮野真守 | 2 | 2 | 2 | 1 | 1.75 | 1.00 |
| 17 | 寺島拓篤 | 1 | 1 | 0 | 3 | 1.25 | 0.94 |
| 17 | 浅田健次郎 | 1 | 0 | 2 | 2 | 1.25 | 0.94 |
| 19 | 三木眞一郎 | 4 | 0 | 2 | 1 | 1.75 | 0.88 |
| 19 | 子安武人 | 3 | 1 | 3 | 0 | 1.75 | 0.88 |

1.4 傾向分析

今回から試験的に男性声優を追加したが標本数が 52 名と少ないため有意な数値かは疑問点が残る。それでも大枠の傾向は出ているかと思われる。また男性声優は女性声優に比して 1.5~2 倍の格差がある。これは女性声優の需要が断トツに高いためと思われる。

また、女性声優の一部は男の子役も出来ることも格差の理由だろう。いずれにして男女とも特定の人間に集中している傾向にある。

女性 1 位、花澤香奈。2 位が能登麻美子となっており大沢事務所が独占した形になっている。沢城みゆきは前回よりも順位を上げて上位の常連と言うべき状態が続いている。

またスフィアメンバーも上位入りするなど寡占化が見てとれる。

逆に上位常連だった釘宮理恵の低下傾向が気になることである。

また、表には現れていないが LISP の元メンバーにはユニット化による一定の底上げ成果が見てとれた。ただし、ユニットが解散したことにより結成前の状態まで戻ってしまうことが懸念される。

1.5 際立つ状況

1.5.1 花澤香奈

前回 1 位の竹達を抜いて断トツの首位。勢いに全く衰えが見られず最早、異常というレベル。うまい棒と言われていかなのが懐かしい。声幅は無いのだが役とのマッチしている点がポイントか。

1.5.2 沢城みゆき

前回より順位を 1 つ上げて 3 位。相変わらずの高位での安定を保っている。多種の声が出る器用さが受けていると推測。

1.5.3 スフィア（高垣彩陽、豊崎愛生、戸松遥、寿美菜子）

ソニーパワー（aniplex 枠）が一定数あるためか高位で推移している。ユニット単位でのキャスト押しも効いているのかメンバーは総じて高位置にある。しかし、これまで続伸していた高垣彩陽が急激に低下。実力値はメンバーの中で一番あると考えており今後の推移が非常に気になる。

1.5.4 岡本信彦, 下野紘, 藤原啓二

男性声優上位 3 位は僅差で殆ど差が無い。いずれも良く耳にする声である。若手に混ってベテラン（藤原啓二）が上位存在するというのが女性声優には無い特徴的な傾向だろう。

1.6 気になる動き

1. 茅野愛衣

『あの花』で大ブレイクした。現在、プロフィットでイチ押されているのか出演数がクール毎に伸びている。

特筆すべきは声幅があることで今後、色々なキャラに対応出来そうだ。

2. 喜多村英梨

前回調査では大幅に順位を落していたが今回調査では復帰しており読み通り、前回の急落はエアポケットだったようだ。

3. 竹達彩奈

前回調査でトップだったのが大幅に順位を落して 17 位である。雑誌メディアでは露出度が非常に多い割に順位が伸びていない。

さらに声幅が単調で一本調子気味なので今後は低迷するのではないかと予想している。

4. 野水伊織

表には無いが最近、急激に上昇してきた。ただ内容を分析すると角川依存性が非常に高い。

1.7 定点観測

1. 能登麻美子

『ウィスパーボイス』の需要と 2 期効果により予想通りの再度の浮上し大幅躍進。

2. 堀江由衣

常に 10 位前後と沢城同様に高安定を誇っている。上位、下位の変動があっても殆ど影響を受けない。

3. 田村ゆかり

前回調査から更に低下。メディアへの露出度の割に低下傾向が止らない。

良く聴いているかと思いきや作品への出演数は意外と少ないという結果が分った。

4. 野川さくら

観測史上初の 0 となる。全体的ラムズが低迷しており事務所自体の存続が心配される。

5. 平野綾

一時期の低迷から大幅に回復したがメディア露出度に比例した域にまでは達していない。

出演数の増加についても作品 2 期による続投であるため新規性に乏しい。

6. 豊崎愛生

第 5 回声優アワードの主演声優賞受賞。上位の常連となりつつあるが声幅が少なく安定度が気になる。

7. 戸松遥

毎年の如く出す写真集は最早、年中行事の域。

2 専門雑誌における掲載率 Vol.9

TCVV 情報管理部 調査課 掲載率担当

2.1 目的

本寄稿は TCVV 宣言にある「声優」と呼ばれる人々は VISUAL、その他のメディアに頼りすぎ・出過ぎではないだろうか? という、TCVV 本来の目的に戻り TCVV 情報管理部調査課が独自（独断と偏見 ???）に解析した結果である。

では実際にどのくらいのメディア出現率なのだろうか？

本調査では主にメジャー声優雑誌「声優グランプリ（（株）主婦の友社発行）」を元にグラビアの面積にて評価する。

2.2 解析方法

以下の条件にてページに対するグラビア率を算出し、個人毎&事務所毎にビジュアルに出ている率を算出している。

個人出現率：純カラーグラビアページ率のなかで、個人ごとに相当する占有率。複数人で掲載されている場合には単純に人数で除算する。

$$Cp3 = \frac{\text{個人でのグラビアページ数}}{\text{グラビアのみの総ページ数}} \times 100$$

事務所別出現率：純カラーグラビアページ率の中で、所属事務所別の占有率。複数事務所に掲載されている場合には事務所数で除算する。

$$Cpj = \text{事務所別出現率} = \frac{\text{所属事務所別グラビアのみのページ数}}{\text{グラビアのみの総ページ数}} \times 100$$

2.3 結果

2011 年の年間上半期にかけての各号の上位 5 名をピックアップした表を以下に示す。

| | 1月号 | 35.09p | 2月号 | 32.39p | 3月号 | 37.04p | 4月号 | 26.82p | 5月号 | 38.8p | 6月号 | 44.78p |
|---|--------|--------|-------|--------|------|--------|-------|--------|------|--------|-------|--------|
| 1 | 浪川大輔 | 14.25% | 茅原美里 | 26.24% | 堀江由衣 | 25.23% | 伊藤かな恵 | 18.65% | 豊崎愛生 | 15.46% | 竹達彩奈 | 21.21% |
| 2 | 佐藤聡美 | 8.81% | 名塚佳織 | 15.44% | 谷山紀章 | 13.50% | 細谷佳正 | 14.92% | 金元寿子 | 13.21% | 豊崎愛生 | 16.45% |
| 3 | 小野大輔 | 8.55% | 田村ゆかり | 13.24% | 竹達彩奈 | 7.29% | 水樹奈々 | 9.84% | 前野智昭 | 13.21% | 下野紘 | 11.17% |
| 4 | 森久保祥太郎 | 8.55% | 酒井香奈子 | 12.35% | 水樹奈々 | 6.19% | 寿美菜子 | 9.32% | 高垣彩陽 | 11.75% | 伊藤かな恵 | 9.53% |
| 5 | 浅野真澄 | 5.70% | 小林ゆう | 10.8% | 江口拓也 | 5.40% | 高垣彩陽 | 9.32% | 水樹奈々 | 10.31% | 福山潤 | 8.93% |

表 1: 2011 年上半期個人出現率上位 5 名

| | | 214.93p | | |
|----|-------|---------|------------------------|---------|
| 1 | 豊崎愛生 | 19.25 % | ミュージックレイン | 21.39 % |
| 2 | 堀江由衣 | 14.65 % | アイムエンタープライズ | 10.53 % |
| 3 | 竹達彩奈 | 12.2 % | 青二プロダクション | 8.48 % |
| 4 | 高垣彩陽 | 11.95 % | VIMS | 8.21 % |
| 5 | 伊藤かな恵 | 10.27 % | 81 プロデュース | 7.23 % |
| 6 | 水樹奈々 | 8.93% | シグマ・セブン | 4.97% |
| 7 | 茅原実里 | 8.5 % | マウスプロモーション | 4.23 % |
| 8 | 寿美菜子 | 7.39% | エイベックス・プランニング&デベロップメント | 3.95% |
| 9 | 戸松遥 | 7.39% | アクロス・エンタテインメント | 3.26% |
| 10 | 下野紘 | 6.0% | フリー | 3.26% |
| 11 | 金元寿子 | 5.13% | プロ・フィット | 3.05% |
| 12 | 前野智昭 | 5.13% | アーツビジョン | 2.85% |
| 13 | 谷山紀章 | 5.0% | 賢プロダクション | 2.47% |
| 14 | 名塚佳織 | 5.0% | ぷろだくしょんバオバブ | 2.39% |
| 15 | 浪川大輔 | 5.0% | ホーリーピーク | 2.09% |
| 16 | 細谷佳正 | 4.8% | アクセルワン | 1.86% |
| 17 | 阿澄佳奈 | 4.51% | 尾木プロ | 1.86% |
| 18 | 片岡あづさ | 4.51% | スターダスト音楽出版 | 1.26% |
| 19 | 原紗友里 | 4.51% | アトミックモンキー | 0.93% |
| 20 | 小林ゆう | 4.5% | エイベックス・マネジメント | 0.93% |

表 2: 2011 年上半期個人及び事務所別出現率上位 20 名

2.4 データ考察

不動の地位とされていた水樹奈々、田村ゆかり、平野綾の 3 人が大幅ダウン。上半期の TOP20 位に入ったのは水樹奈々 1 人だけであり、田村ゆかりは第 21 位、平野綾に至っては大幅ダウンの第 39 位となった。

スフィアの 4 人組は相変わらずのプッシュ。その結果、事務所別ではミュージックレインがまたしてもアイムを抑えて第 1 位になっている。スフィアとしてではなく、各個人での活動の機会も増えた事も影響しているのだろう。

今期赤丸急上昇は伊藤かな恵。長野県出身の彼女、アニメイト長野店での彼女のプッシュ振りはすごい。

竹達彩奈は今年 6 月号の表紙を飾りたと思ったら特集で約 10p。確実にランキング上位へ食い込んできている。

本データの集計を初めて 5 年目。声優グラビア部門にも変化の年になるのかもしれない。

参考文献

(株)主婦の友社発行 月刊声優グランプリ 2011 年 1 月号～2011 年 6 月号

3 ISSN 取得顛末記～そんなコピー本で大丈夫か？～

TCVV 情報管理部

3.1 はじめに

このほど、TCVV 白書は ISSN を取得しました。

きっかけは、とある雑誌⁶の表紙を見たら右上に小さく ISSN で始まる番号を見つけたことからでした。

これが何なのかと調べたら ISSN(International Standard Serial Number:国際標準逐次刊行物番号) というものでした。

雑誌など逐次刊行物は、誌名、発行者、刊行頻度等がしばしば変わるという流動的な性質を持っています。その逐次刊行物に関する膨大な情報を処理し、その流通の円滑化、利用の促進を図るためには個々の逐次刊行物に、識別のための固有の番号を与えることが必要だとしてユネスコが中心となって雑誌を識別するために UNISIST(世界科学情報システム)計画の一環として ISSN が考え出されました。

なお、ISSN は ISO/JIS にも規定されており、逐次刊行物に定めた国際的に一意な番号です。日本では国立国会図書館(以下、NDL)が ISSN 日本センターとして窓口業務を行っています。

ISSN に関する説明を一通り読んでいたら『ひょっとして TCVV 白書も取得可能ではないか?』と思ったのです。

3.2 いざ取得へ

ISSN は同一タイトルで継続的に刊行していることが絶対条件です。幸い TCVV 白書は刊行以来、同一タイトルで継続的に発行しており取得基準を満たしていました。NDL の ISSN 日本センターのページ⁷で確認してみると申請自体は電子メールで行えることが分かりました。また申請手数料は無料ということも分かりまし

た。しかし、取得する上での疑問点がありました。

それは『そんなコピー本で大丈夫か?』

結論から言えば

『大丈夫だ。問題ない。』

コピー誌でも良いようです。雑誌というのは実に千差万別でオフセット印刷されたものから大学の研究室が発行しているガリ版印刷されたものまで含みます。

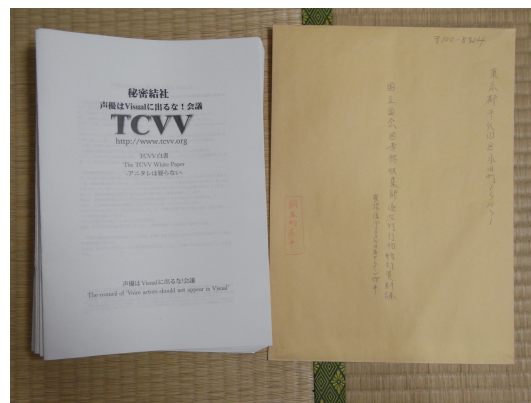
これら全て雑誌とみなされコピー本であろうとも逐次刊行物であれば ISSN が取得できるようです。

3.3 申請するでゲソ

申請は郵送でも電子メールでも可能ですが、お手軽に電子メールにて申請しました。

申請するとスグに(ホントにスグに)NDL 担当者から受付受理のメールがやってきました。納本後に ISSN が発行されるとの旨があり、NDL への納本の指示がありました。

納本は完全な状態ではなくて良いのですが出来るだけ遑って欲しいとのことだったので TCVV 白書を創刊号から最新号、特別号まで含めて全て送ることにしました。



発送写真

⁶東芝レビュー

⁷<http://www.ndl.go.jp/jp/aboutus/issn.html>

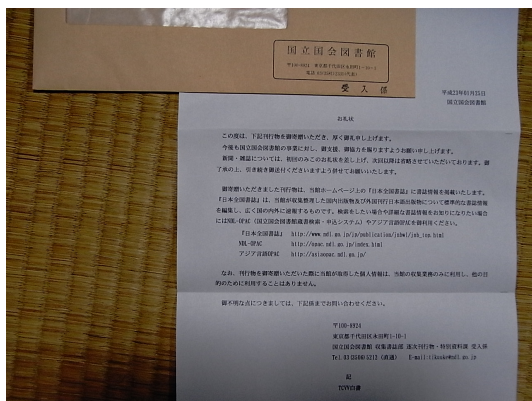
なお、申請自体は納本と同時でも良いのですが納本前に申請しておくともスムーズにISSNが発行されるようです。

2011年1月18日 電子メールにて申請。
2011年1月23日 TCVV白書をNDLに郵送。
2011年1月24日 NDL担当から納本受理のメールと共にISSNの通知が来る。

発送は日曜日の夕方でしたが集配局に直接出したことと事前申請していたこともあって翌日の午前中にはISSNが発行されました。まがでNDL、仕事早いです。これには感心しました。これで晴れてISSNを取得することが出来ました。

3.4 ISSN発行後

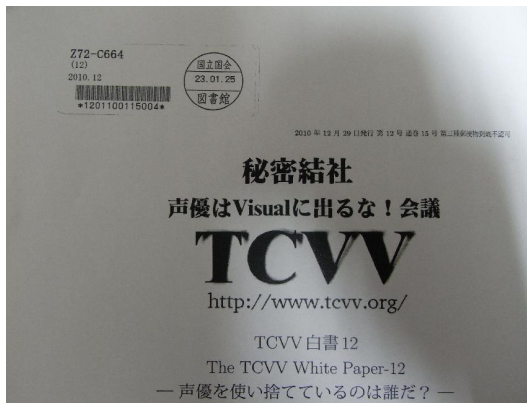
無事、ISSNが取得されるとNDLから納本のお礼状とISSNの正式な通知書が送られてきます。



お礼状

その後、NDL発行の全国書誌一覧に掲載されました。(2月下旬)
最後にNDL-OPACに登録されます。(4/4の週に登録された模様)
NDL-OPACにはちゃんと『特別号あり』と備考に書かれていました。
申請からここまで約2ヶ月経過していました。(震災の影響で時間がかかったかも知れませんが)
NDL-OPACに登録されるというのはNDLでTCVV白書を読めるということの意味しま

す。
まあ、TCVV公式サイトでもバックナンバー読めるので殆ど有難みはありませんが...
そこで4月の中旬、NDLに行き実際に出庫できるか確認しました。
無事、出庫出来ました。が館内では写真が撮れませんので表紙を複写してもらいました(25円也)



証拠写真(左上にNDLの請求記号と受け入れ印がある)

3.5 おわりに

定期刊行している同人誌があれば是非、ISSNを取得しましょう。取得しない手は無いです。手続は上記のように非常に簡単なのですから。行く行くは公式ページで公開しているオンライン版もISSNの取得を考えています。(同じ内容でもISSNは媒体毎にユニークなのです)

またISSN取得は別の目的も使えます。同人誌をNDLへの納本する場合にはオフセット印刷されたものに限られます。コピー本は基本的に受け付けないようです。しかし、TCVV白書のように定期刊行物の場合にはISSN取得することで副次的にコピー本でも納本が可能になるのです。自ら制作した本をNDLの完備された保存環境で未永く保管してもらえます。コミックマーケット全体で見ると頒布される同人誌にISSNが付与されているのは極めて少ないと思われます。しかし、同一タイトルで定期刊行しているサークルは非常に多いハズです。殊に声優島は、その性質上多いハズです。まずは声優島から同人誌のISSNの取得を促進しようではありませんか!

4 『声優アワード』 Watch Vol.4

TCVV 情報管理部 調査課 声優アワード担当

1. 第5回声優アワード受賞者と予想反省会

前回の『声優アワード』Watchにて第5回声優アワード受賞者を予想したわけだが、機械予測の限界がどこにあるのか分析してみた。

| 各賞 | 第1優先 | 第2優先 | (第3優先) | (第4優先) |
|-------|------|------|--------|--------|
| 新人女優賞 | 竹達彩奈 | 早見沙織 | 悠木碧 | 藤村歩 |
| 主演女優賞 | 花澤香奈 | 豊崎愛生 | 小林ゆう | 高垣彩陽 |
| 助演女優賞 | 高垣彩陽 | 阿澄佳奈 | 早見沙織 | 伊藤静 |

前回予想リスト(再掲)

| 各賞 | 第5回受賞者 | 第4回受賞者 | 第3回受賞者 | 第2回受賞者 | 第1回受賞者 |
|----------|-----------------|---|----------------|---------------------------------|-----------------|
| 主演男優賞 | 該当者なし | 小野 大輔 | 神谷 浩史 | 宮野 真守 | 福山 潤 |
| 主演女優賞 | 豊崎 愛生 | 沢城みゆき | 釘宮 理恵 | 平野 綾 | 朴 路美 |
| 助演男優賞 | 岡本 信彦 中井 和哉 | 浪川大輔 三木真一郎 | 井上 和彦 杉田 智和 | 小野 大輔 神谷 浩史 | 石田 彰 宮田 幸季 |
| 助演女優賞 | 新井 里美 伊藤 かな恵 | 堀江由衣 井上喜久子 | 遠藤 綾 沢城 みゆき | 釘宮 理恵 斉賀 みつき | 小清水 亜美 後藤 邑子 |
| 新人男優賞 | 内山 昂輝 | 阿部 敦 前野 智昭 | 岡本 信彦 梶 裕貴 | 羽多野 渉 代永 翼 | 柿原 徹也 森田 成一 |
| 新人女優 | 金本 寿子 佐藤 聡美 | 伊藤 かな恵 豊崎 愛生 | 阿澄 佳奈 戸松 遥 | 加藤 英美里 小林 ゆう | 鹿野 優以 平野 綾 |
| 歌唱賞 | 茅原 実里 | 豊崎 愛生 日笠 陽子 佐藤 聡美 寿 美奈子 竹達 彩奈 | 中島 愛 | 平野 綾 加藤 英美里 遠藤 綾 福原 香織 | 水樹 奈々 |
| パーソナリティ賞 | 豊崎 愛生 | 小野坂昌也 | 神谷 浩史 | 鈴村 健一 | 浅野 真澄 |

実際の結果(過去受賞者を含む)

見ての通り予想を大幅に外した。

辛うじて的中したと言えるのは主演女優賞の豊崎愛生だけである。

今回、予想を外した要因としては以下の2点を考えている。

- 確認漏れ
- 辞退の考慮抜け

まず、(1)の確認漏れであるが、悠木碧を新人賞候補に入れていたのは単純な確認ミスだった。子役時代に声優として既に活動していたので期間を考慮したら新人賞候補には当たはまらない。今回に体制に影響は無かったが子役時代に声優として活動しているものは確認抜けがしやすい。

次に(2)の辞退の考慮抜けだが、これが一番問題だと考える。

第1回目から俳協、大沢事務所、シグマセブンが辞退していたので知ってはいたが前回予想した際に考慮が抜けていた。少なくとも俳協、大沢事務所、シグマセブンについては配慮すべきだった。さらに今回は新たにアイム、81プロデュース、賢プロも辞退していた模様だ。(どこが辞退したか公表されないのであくまでも予想)

参考までに辞退したと思われる事務所に所属している人を抜いて再度、表を作成してみた。(上位10名のみ)

| 順位 | 氏名 | 順位 | 氏名 |
|----|--------|----|-------|
| 1 | 高垣 彩陽 | 6 | 小清水亜美 |
| 2 | 沢城 みゆき | 7 | 戸松遥 |
| 3 | 豊崎 愛生 | 8 | 伊藤かな恵 |
| 4 | 小林 ゆう | 9 | 寿美奈子 |
| 5 | 悠木 碧 | 10 | 田中理恵 |

前回の予想では主演、新人とも有力候補としては高垣を挙げた。技量では高垣であると考えがノミネートされなかったのか、それとも人気から豊崎愛生が主演女優賞を受賞してしまった。

新人賞候補は『高垣、寿、小見川(21位)、佐藤聡美(24位)、金元(26位)』に絞られる。順当に考えれば新人賞は高垣か寿だが主演女優賞が豊崎なのでミュージックレインの独壇場になってしまう。

協賛にアニプレックス入っているのでミュージックレインだけになってしまうと色々問題もあるだろう。それを考慮して高垣や寿の受賞は見送られたと考えられないか？

また、話題性が重要なファクタである声優アワードにとって『イカ娘』は大きい。それに出演していた新人声優である金元が受賞した。ただ、作品の話題性に助けられた感があり本来の新人評価という主旨とは大分違と思う。

伊藤かな恵の受賞については全く良く分らない。が、前回第4回で新人賞を受賞しており無難な着陸地点として選んだ気がしてならない。

結果、各所に配慮したバランスのとれた格好になってしまっている。

ただ、主演男優賞については、どうにも調整が付かんかったのか該当者無しである。

『調整つきませんでした』と大っぴらに言えないのは分かるが、これでは『2010年に主役として活躍した男性声優はいませんでした』との印象を与えかねない。

いずれにせよ不自然な結果である。もう、わけがわからないよ。

結論としては予め辞退する事務所が判明すれば過去の傾向から、ある程度の精度で機械予想は可能であると考えられるが選考にはかなり恣意的なもの含まれているようで残念ながらこれ以上の精度での機械予測は不可能と言わざるを得ない。

ファンの意思是ゴミ箱にポイ捨て

毎回、多少の辞退は出ていたが今回は大量の辞退が出たようで主催者側はかなり動揺しただろう。

以前、賞とは『上から下へ授けられるもので、授ける方の名誉のためにある』という考え方を紹介

した。

声優アワードを開催すると言ってしまった手前、主催としてのメンツを守るためあの手この手で調整したのだろう。

各事務所が辞退している理由は様々あると考えるが概ね『基準が曖昧だったり不透明だったり恣意的なだったりする声優アワードなんて辞退するわ』という感じでアワードの価値を認めていないようである。

でも、一番の問題は純粋な {声優 | アニメ} ファンが事務所側が辞退してしまふことを知らずに一般投票して選考結果を楽しみにしていることだ。

で、イザ結果が発表されると辞退によりファンの意思是ゴミ箱に捨てられた形となって全く予想だにしない結果となって現れる。

民意をガン無視である。こればかりはファン側には全く責はなく、ふざけた話はない。

皮肉にも TCVV が全否定している歌唱賞の方が比較的民意を反映している。

声優アワードを取りまく主催者、事務所、ファンの気持ちというものは全く一つになっておらず事務所側とファン側だけ見ても、その乖離具合は酷い。

声優アワードはオワコン

選定結果を見るとかなり苦労した跡が伺い知れる。

誰もが認める賞であれば調整などする必要は無いだろう。実際、主催者側から『調整に苦労した』というトンデモないコメントが出ているくらいだ。このコメントが声優アワードの現状全てを物語っていると言える。

ネット界隈を見ると声優アワードに期待しているのは状況を知らないファンのみであって今のアニメを支えているコアなファンはとっくに声優アワードを見限っている。本来、この人達すら取り込まねば発展はないのに...

第1回の頃から迷走を続けた声優アワードは第5回で完全に破綻したとみて良いだろう。

例年であれば9月末には開催の案内が出るハズであるが、このような惨憺たる状況下でも次回開催するつもりなのか？

仮に第6回が開催されるとして辞退が今年と同じくらいだとすれば壊滅的だ。

過去に受賞した人が再度受賞という始末になるだろうし、特に問題なのが新人賞だ。

流石に新人賞は過去に受賞歴がある人に授ける訳には行かない。

該当者無しという事態も考えられるが、気になるのがアミューズメント総合学院と角川プロダクションの合併会社である『プロダクション・エース』の存在である。

アミューズメント総合学院と言えば卒業生が何故か声優アワードで毎回新人賞を取ったりする所であり、角川プロダクションといえば声優アワード協賛企業の角川書店の関連会社である。その2つの合併会社である『プロダクション・エース』。何があってもおかしくない。声優アワードの看板を下したくない角川は『プロダクション・エース』から大量投入するかも知れない。

R-15では、出演声優のその殆どが『プロダクション・エース』という始末であり R-15 での声優陣が新人賞というのは全く有りえない話ではない。

だが、それは同時に声優アワードに致命的なダメージを与えることになり最早、回復しがたいものになるだろう。

声優アワードは終わったコンテンツなのだ。しかも、とっくに。

こんな茶番アワードは時間と金の無駄だ。早急にやめるがいい。

5 声優システム論 (8)

もし声優がタネンバウムの『オペレーティングシステム』を読んでいたら？
-声優としての基本性能-

TCVV 議長

声優システム論とは

昨今の声優（現代声優）はアニメや洋画に声を当てるだけの存在ではなく、社会や経済にも影響を与える存在になった。

その動きは古典的な声優論では説明出来無い。そこで現代声優の振舞いを複雑系として捉えることを考え、この系を『声優システム』と名付けた。⁸

本論は『声優システム』を様々な角度から考察するものである。

1. 恒例のまくら

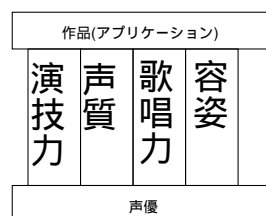
今回のタイトルは少しばかり仰なタイトルではあるが『もし～が××を読んでいたら』というのにならってみた。

大仰なタイトルではあるがOS(パソコンにのっている基本ソフトのことでWindowsとかのこと)に関しては少しかじっただけなのであまり難しいことは論じない。

従ってマイクロカーネルとモノリシックカーネルの論争とか出てこないのも悪しからず。

2.OS に見たてた声優の構造

現代声優はスレッド(短冊)のように各機能が並列に動いていると考えている。(図1)



現代声優の基本構造 (図1)

演技力 絶対必要な能力 (必須:基本機能)

声質, 声幅 特徴的もしくは、多くの声の種類を持っている能力。(推奨:基本機能)

容姿 Visual に訴える力 (オプション実装:アイドル成分)

歌唱力 上手く唱う力 (オプション実装:アイドル成分、付加機能)

現代声優の特徴としては容姿と歌唱力というアイドル成分が重要視される。

⁸システムたる典型的な例は声優のためにアニメが作られるようになったこと。主従で言えば、従だった声優が主になったという点から見ても『システム』要件を満たしている。

3. 一連の平野綾騒動に見えるもの

益々加速する声優のアイドル化だが先般、大衆紙に載った平野綾かと噂された写真騒動によってアイドル化声優の脆弱さが改めて認識された。

この件に関して平野綾ファンの中には狼狽しきっている者が少なからずいたようだ。

これと同じような出来事は10年前にもあった。宮村優子にAV疑惑が持ち上がった際、今回同様に一部のファンから悲痛な叫びが上った。宮村優子と言えば写真集、CDを出すなど、今のアイドル化声優路線の直接の礎を築いた一人でもある。

そのインパクトたるや今回の騒動に匹敵した。まさに歴史は繰り返かえされている。

声優は友達でもなければ増してや恋人でもなければ配偶者でもない。役者だ。

従って容姿や性格なんてどうでも良い。ブラックBOXで沢山だ。

しかし、これら悲劇(?)が起こるのはは声優をアイドル化したことに他ならない。

端的に言うと声優のアイドル化の末路は神格化であり偶像崇拜である。

役者も人間である。人間臭いところがあって当然であり、それを含めてファンになると言うのなら良い。だが、アイドル化声優は『アイドルはうんこをしない』という旧来の流れをそのまま踏襲してしまっている。

神格化して偶像崇拜の域にまで達すると、人間であれば当たり前のことすら許さなくなってしまう妄信的なファンを作り出す。

4. 乱立する声優ユニット

昨今、乱立する声優ユニットは事務所や製作委員会主導で行われることが多い。

だが、何でもかんでもくっつければ良いというものぢやない。

記憶に新しいのはLISPの活動休止。⁹ どうしてこうなったかについてはもう少し落ち付いてから分析したい。が、一言で言えば発表当初から唐突さというか雑さというか無理練り感ばかりが目立ってしまい企画側の意図した方向にファンを向けられなかったと考える。LISPの試みは自体は新しかったが拙速すぎたのだ。

いずれにせよTCVV的な原点に立てば声優ユニットは役者個人の技量を延ばす機会を失なわせる危険性を孕んでいるので総じてNO!だ。¹⁰ ただ、作品限定というのなら作品終了時と同時に解散となりズルズル行くこともなく悪影響を最小限に留めることが可能なので、場合によってはギリギリ許容範囲とすることもできる。逆に期間を定めないユニットは非常に危険な存在と考えている。ましてや場当たりの無計画なものなんて問題外である。

ユニットを組ませる暇があるのだが演技をちゃんとさせてやれよと。

5. キャラソンは力量計

声優が歌手活動していても単に巧いだけでは付加価値は無いと断言する。

せっかく声優として歌手活動をしているのなら各キャラの声で唄い分けるくらいの事をしないと存在価値はない。ぶっちゃけ、地声が響いているだけでは芸が無い。所詮、アイドルの延長でしかないのだ。

⁹LISPについては我々のような偏向意識団体は早急に破綻するだろうと予想はしていたが比較的中立な人間や熱烈なファンからも駄目だろうという意見が早い段階から出ていた。

¹⁰ゆえにスフィアもTCVV的には認めていない。(特に最近の嫌な匂いばかりする。)

以前から主張しているように声優の歌手活動の許容限界はキャラソンまでと考えている。が、キャラソンほど難しく声優の力量が分かるものはない。キャラソンは実力のバロメータとして見ている。

キャラソンはキャラクターの歌なのだから文字通り、役の特性 (characteristic) を声で補強 (補完) しなければならない。それ故に地声で唄うのは声優として如何なものかと思う。

高度な技術を持ちながら歌手活動をせず、ただ役のために唄うという人は稀有な存在だ。こういう人々にこそ歌唱賞を与えたい。

6. 真の敵は事務所とアイドル崩れ声優

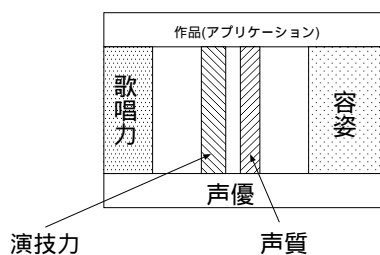
アイドル化せず人間味を出したプロモーションをすれば良いのに事務所側は人間臭いものを排除して声優をアイドルとして定義付けて売り出すことに執心している。

このようなことから『作られたアイドル像』から少しでも離れたら当該ファンは『裏切られた!』と感じてしまう。

さらに、悪い事にアイドル化に執心している事務所側はアイドルとして実装されていない (純粋な) 役者としての声優にアイドル活動を無理強いすることで精神的な苦痛を与えてしまう例もある。我々から見ればこれ程、アニメファンをヴァカにしたものは無いと考えている。

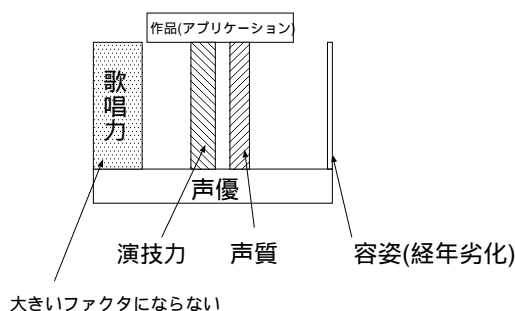
そして、もう一つの懸念材料が一般アイドルの『でもしか声優』。¹¹化である。これは一般アイドルとして鳴かず飛ばすの人間をアイドル化声優に仕立てて売り出すことである。この時、事務所側と一般アイドルの利害は見事に一致するから手に負えない。

前出の図1を (でもしか声優を含む) アイドル化声優に当てはめてみよう。はじめのうちはアイドル性で何とかやってゆけるが、



アイドル声優の構造 (図2)

基本性能が未実装のまま時間が経過してゆくとアイドル化声優は経年により支えられる作品の大きさが小さくなる。そして、やがては消えることになる。



経年したアイドル声優の構造 (図3)

¹¹ 『声優にでもなるか。声優にしかできない』

平野綾の例といい、LISP の例といい諸悪の根源は声優のアイドル化に執心している事務所や『でもしか声優』である。

我々の真の敵はアイドル化を強要する事務所やアイドル崩れの声優ではないのか？

7. 生存戦略しましょう

今や人気絶頂の竹達彩奈だが、TCVV 短観を見ると大暴落しており早くも失速の予兆がする。人気が出た当初からビジュアルを前面に押し出したものが目立つ一方で声が単調過ぎるという致命的な面がある。

ビジュアル面から言えば人間いずれ劣化する。しかも、声幅が無いとなると正直この先は危ういと思う。数年後、あの人は今？という状態になりかねない。

未永く声優を維持するためには以下の戦略が肝要かと思われる。

声優側

技量不足をアイドル成分で補完出来るのは数年だけ。兎に角、基本性能を磨く。アイドル化声優の入る余地を与えない位に。

アイドル化戦略と戦い大声優翼賛会と化した業界からの嫌がらせに耐えて欲しい。

そんな骨のある声優を我々、アニメファンは見捨てない。

ファン側

声優のドル売り¹²に乗ってはいけない。

昨今は容姿を前面に出したアイドル化声優が前面に出ている。が、容姿なんて年月が経てば劣化するのだ。

アイドル化声優に酔い知れ、旬が過ぎらぽい捨てしてはいないだろうか？

そんなことでは、まともな声優や作品を育成出来る訳がない。いまこそ冷静になってアイドル化戦略に NO! と言うべきだ。

事務所側

声優を Visual に出すな! 話題作りのための余計な活動(ユニットとか)をさせない。

声優を人間臭いまま売り出すことが延いては本人や業界、ファンの全てが勝ち組になるものと考え

る。あと、プロダクションエースとかラムズがやっているような事務所主体の作品¹³はやめるべき。自分達の都合の良いように原作改変を行うのでアニメファンは全く付いてこない。何の御利益もない。

アイドル化声優は麻薬みたいなもの。一時期な快樂を得るだけで常用するとボロボロになってしまう。

8. 今回のまとめ。

- 基本性能を伸ばしましょう。
- キャラソンがまともに唄えるのはストロングポイント。
- アイドル声優の濫用はダメ。ゼッタイ。

¹²アイドル声優として売り出すこと

¹³R-15, マジカノ

6 TCVV フォーラム

TCVV 会員や読者の声を放談という形でお届けします。

TCVV 事務局

本誌に関する御意見、御感想をお待ちしています。
info@tcvv.org もしくは公式ページの意見箱までお寄せ下さい。

6.1 Chairman's free talk-議長放談-

I. LISP 解散について

界限では『ファンによって潰された』という意見があります。仮にそうだったとしても、そこに至る理由(ファンが潰そうとする位の異常なる何か)が必ずあるはずです。そこんところを分析や追求せずにファン同士が感情論的な水掛け論をしている気がします。もっと冷静になって今回の事態を分析をする必要があるかと思えますよ。

II. もしかして棒需要ってのがあるのですか？

月宮みどり、小見川千明、茅原実里。何れも無口キャラは比較的聞けるのに、それ以外のキャラをすると途端に棒全開になってしまう。

オーディションの要求事項の中に棒ってのがあるのかと小一時間 (ry

III. ラムズさん本当に大丈夫？

ついに稼ぎ頭の野川さくらまでもが TCVV 短観での活性度がまさかの 0。

『デビューしなくちゃ、始まらない』とのフレーズが虚しいです。

ラムズさんの生存戦略は上手くいっていないようです。

IV. 角川、絶惨迷走中。

角川主体で製作しているアニメ作品が空気化しています。ほとんど話題にすらならないことも。満を持して臨んだ R-15 も最早、空気に。角川の息のかかった声優を一気に売り出しを狙ったと思われませんが大きく外しています。

あと、PS3 版 FORTUNE ARTERIAL の開発中止。

八月ファンの当方にとって大変残念な結果です。

そー言えばアニメ版の FORTUNE ARTERIAL も角川が主導して大コケしましたしね。

全く、どうなっているのですか？(怒)

V. TCVV 短観と専門雑誌による掲載率。

統計調査以来、TCVV 短観と専門雑誌による掲載率は相関が非常に低かったのですが、今回調査では相関が高くなった気がします。

どのような要因でこうなったのかを統計学的な検証を含めて本格的に分析してみたいですね。

6.2 From member's voice

情報管理部調査課主任 北沢紘一

ある意味 TCVV の独断に近い形でデータ収集を行っている「専門雑誌による掲載率」。文中にも触れた通り、今回はある意味画期的な結果になったのではないだろうか？過去必ずと言って良いほど上位に食い込んでいた 3 人の内上半期ランキングに入ったのは水樹奈々だけであった。データ集計を始めて今年で 5 年目、年末には年間推移がどう変動しているのか非常に楽しみである。

さて注目したいのは竹達彩菜。私が彼女を知ったのは OAD kiss × sis 第 0 話「ゼロから始めよう」である。2008 年 12 月発売なので彼女が本格的にデビューして間もなくの話になる。翌年「けいおん!」でブレイクし、うなぎ上りに急上昇。まさに今が旬の声優の一人である。そんな彼女、先日 8 月 9 日付の朝日新聞にインタビュー記事¹⁴ が掲載された。その中で「私は表に出る仕事はしないものだと思っていました。」とある。昨今の勘違いアイドル声優に爪の垢を煎じて飲ませてやりたいと思った。いやあやにゃんの爪の垢ならむしろ私が飲みたい、もちろん別の意味で… (爆)

また去年は彼女の新しい演技を見る事ができた。「俺の妹がこんなに可愛いわけがない」と「えむえむっ!」である。私は当初このキャストिंगを見た時に「ツンデレキャラは無理」と豪語していたが、いざフタを開いてみたら「あらいやだ意外といけるわね」という感じ。彼女自身も web ラヂヲ「俺の妹がこんなに可愛いわけがない」の最終回でこの作品は今までにない自分の演技の幅を見出すことが出来たという様な事を言っている。

あとは私のお膝元、長野県出身の伊藤かな恵。広い長野県（ああ見えて実は南北 200km 以上ある）の何処出身なのかは定かで無いが、少なくともアニメイト長野店ではコーナーが設けられている。

そういやこの 2 人は「迷い猫オーバーラン」で共演していたなあああ。ちなみに私は文乃派だが…いずれにせよ数年後オワコンにならぬ様、本業の「声優」という仕事に集中できる様に生温かく見守っていくべきであろう。

スフィア人気に便乗した LISP はようやく解散しましたね。解散してあれだけファンから喜ばれるユニットもいかなもんかと思いますが… そういう私も LISP 関連のニュースを見る度に「アスミスが不憫で仕方がない」と Twitter 等で呟いていたものです (滝汗)

まあほとんどの人が「まだ解散していなかったの?」って感じですが、私としては「よく 1 年近く持ったねおめでとう」と言いたいです hi

いずれにせよ彼女達が今後「声で演じる声優」としてますます活躍していく事に期待したい。

¹⁴<http://digital.asahi.com/articles/TKY201108080514.html?id1=2&id2=cabbaiaj>

6.3 From reader's voice-読者の声-

読者 56

縁あってこのページを頂きました 56 と申します。坂本真綾と皆口裕子の声が大好きです。真綾姉さんは、攻殻機動隊 GHOST IN THE SHELL の最後に出てくるチビ素子の時からのファンで、皆口裕子さんは、毎朝、起こして貰いたいと思って止まない声の持ち主と認識しています。

んなことどうでもいいんですが、TCVV 白書の冒頭の宣言である「声優は Visual に出るな！宣言」は、プロである事は、こう有らんと示す良い言葉であります。

声優を意識し始めたのは再放送の特攻野郎 A チームのハンニバル役の羽佐間道夫氏からで「外国人が何故日本語を？」と 4 歳児ながら推理したところ、親のネタバレによって声優を声優として認識して、そう言った職業が存在すると理解したものです。

しかし、裏方職業である声優が、歌って踊ってライブやっちゃってグラビアで一般雑誌に載る時代が来るとは思いませんでした。

TCVV 白書で取り上げている声優が表舞台に立つ事の問題は、「(とにかく) アニメで声を当てれば声優で且つアイドルの枠を攫える。」事もできる事が問題で、

本来、

『このキャラの演技が良い 誰？ 容姿がよろしい 引っ張り出される 売れて大成功』
が

『 の様に成功させたい 容姿がよろしいのを見繕う (人気のキャラで) 声を当てる 容姿+キャラ人気で成功』という流れになっている。

前者は、声優業で隆盛しなければ成り立たない。

後者は、アイドル志願でもお笑い芸人でも日本語喋れれば問題無く実現可能である。後者モデルの何が悪いかといえば、業界を取り巻く環境が資金面で脆弱で数多の声優志願者と、購買予測の立てやすい私達がいるので、一般アイドルこさえるより失敗時の傷が格段に浅くて済むし、成功したところで声優を生業とせず、芸能活動の一環として軸足を置く事も可能である。

代わりがいくらでもいるので、取替えは毎日でも効くのだがアイドル声優としての定義付けの為の声の浪費が最大の問題である。この問題は、現在進行中の某韓流ブームに似てるので規模は違うものの、ああいった危険性があると思うわけです。御託を並べ終わるので、アニメはやはりベテランの安定感と中堅のボリュームと新人の可能性に期待できる構成であってほしいと思います。アニメの声優談義でアレがダメこれが良くないを聴くのはうんざりなので制作側には、実力本位で選定してほしいところ。

最後に、乱文申し訳ありませんでした。眠くて、文章の構成や内容について校正が全くされていません。

当方は技量が伴えば二足でも三足でも草鞋履けばいいじゃん派では有りますが、声の追跡で手一杯だったのに表に出ているやられたら追跡できねーじゃん。つてのが本音です。

それゆえ、真綾姉さんに関しては、今や追跡しやすい歌とライブのみの追っかけになりました。洋画とか無理。

専門雑誌が出ている昨今、雑誌を見て容姿からファンに事もありますが、声優と名乗る人は写真映りで無く、ちゃんと声の演技でファンを獲得していく事を旨に活動を期待しています。

編集後記

本誌をご高覧頂きありがとうございます。

今年 TCVV はその思想を広めるためコミケットに参加して 10 年です。

10 周年ということで表紙を始め内容を一部リニューアルしました。

常連の皆様は慣れ親しんでもらった従来の素気ない表紙から大幅変更しました。

中のレイアウトは殆ど変わっていませんが次回以降、少しずつ変えて行きたいと考えています。

本誌最新号はコミックマーケットで頒布しますが、6ヶ月経過したものは公式ページで無料公開しています。また、ISSN を取得した関係で国立国会図書館にも納本していますので、そちらでも参照可能です。(請求記号 Z72-C664)

10 周年を期に TCVV 短観では初めて男性声優にも注目しました。

これにより様々な事が分かりました。男性声優の数値は女性声優に比べて概ね低いことが分かりました。これは男性向作品が多く女性声優の方が需要が高くなり結果的に男性声優の出番が少ない所為だと考えます。

声優は決して広き門ではありませんが男性声優は一層狭き門だということが数値的な裏付けされたと思います。これから男性声優を目指す方は相当な覚悟を持って臨んで下さい。

前回の TCVV 白書にて第 5 回声優アワードの予想を行った訳ですが、まあ見事に外れました。予想する側として反省しなければならぬことは多々あった訳ですが、『受賞者を調整しなければならなかった』という想像を斜め行く結果では誰も当てることは出来なかったと思います。一般投票なんか茶番も良いところです。TCVV が機械抽出にて勝手連的にアワードを発行した方がマシかも知れません。

それにしても毎度、平野綾は話題に事欠かない存在です。(悪い意味で) アイドル声優の代名詞と言っても全く遜色はないものとなりました。昨今はアイドル化が蔓延しており、流石の声優ファンも食傷気味になっているかと思えます。

頓に最近では業界、特に出版社と事務所が一緒になって仕掛ようとしている姿勢が見えます。流石のヲタ様もそれを見抜いておりドン引きしているようです。

R-15 なんか角川のあざとい商売が丸見えで非常に評価が低いではありませんか。自分とこ(プロダクション・エース)の声優を総動員して味噌もクソも一緒に混ぜてカオス状態です。

プロダクション・エース所属の中には角川由来作品しか出ていない人もいます。著作権元と事務所が同じ系列だとゴリ押しキャストになって最悪です。

今期の角川作品は空気になり過ぎて話題になっていないようですが前述の件は実に由々しき事態だと思えます。

殊に原作ファンの方にとってはアニメ化した際に脚本が劣化したらそのショックは計り知れません。アイドル化戦略がこのまま進めば今後も犠牲になる作品は増えるのではないかと考えます。

現にアニメ版 R-15 の amazon のレビューは酷いらしいですね。原作は比較的面白いとの話ですが...

最後に 10 周年だろうが、何だろうがこれからも TCVV は平常運転です。

本誌発行毎に貴重な御意見を頂いております。次回発行への参考となりますので今回も御意見をよろしく願います。

相変わらず纏まりの無い後書きとなってしまいましたが、次回もよろしく願います。

2011 年 8 月 11 日 TCVV 議長 萱沼真一

TCVV 白書 第 13 号 通巻 16 号

発行 「声優は Visual に出るな!会議」情報管理部

組版 L^AT_EX2e (Linux)

発行日

2011 年 8 月 13 日 (初版)

連絡先

「声優は Visual に出るな!会議」

代表者 萱沼真一

URI <http://www.tcvv.org/>

E-mail info@tcvv.org

Twitter <http://twitter.com/tcvv>

Copyright (C) 2011 The council of 'Voice actors should not appear in Visual'

本文に一切変更を加えず、この著作権表示を残す限り、この文章全体のいかなる媒体における複製および配布も許可する。